

Always Smiling, Orthodontics !



ASO International, Inc.

Orthodontic Laboratory Services

Information Memorandum

会社概要 (2024年10月1日現在)

会 社 名	株式会社アソインターナショナル 英名：ASO INTERNATIONAL,INC.
代 表 者	代表取締役社長 阿曾 敏正（あそ としまさ）
創 業 ・ 設 立	創業1982年4月 法人設立1988年5月
本 社 所 在 地	〒104-0061 東京都中央区銀座2丁目11番8号
U R L	https://aso-inter.co.jp/
国 内 支 店	新潟オフィス 大阪オフィス 名古屋オフィス
子 会 社	フォレストアデント・ジャパン株式会社 ASO INTERNATIONAL USA（米国現地法人） ASO INTERNATIONAL HAWAII（米国現地法人） ASO INTERNATIONAL MANILA（比国現地法人）
上 場 市 場	東京証券取引所スタンダード市場 【証券コード：9340】
資 本 金	354百万円
事 業 内 容	歯科技工所の経営並びに歯科材料の輸入及び販売等
役 員	代表取締役 阿曾 敏正 取締役（社外） 田内 優悟 (新任) 取締役 内山 淳 監査役（常勤） 永瀬 巖 取締役 桑原 勉 監査役（社外） 静 健太郎 取締役（社外） 葛西 一貴 (新任) 監査役（社外） 奥村 祥樹
連 結 従 業 員 数	444名 (正社員・派遣社員パートタイマー含む、役員除く)
歯 科 技 工 士 及 び パ ー ト ナ ー 数	歯科技工士数 48名 外部パートナー 55社
連 結 総 資 産 / 純 資 産	連結総資産2,983百万円 連結純資産2,669百万円

経営方針

「高品質」「高付加価値」を追及し、全従業員の
人格・品格形成に努め、社会に役立つ企業
として持続成長する。

審美追及・未病改善に資し、人々が健康で明るく、
QOL(Quality of Life)の向上に貢献する。



経営理念

Professionalな最新技術を
世界から日本へ、日本から世界へ

ビジョン

売上高海外比率50%超のシン・歯科矯正
グローバル企業になる

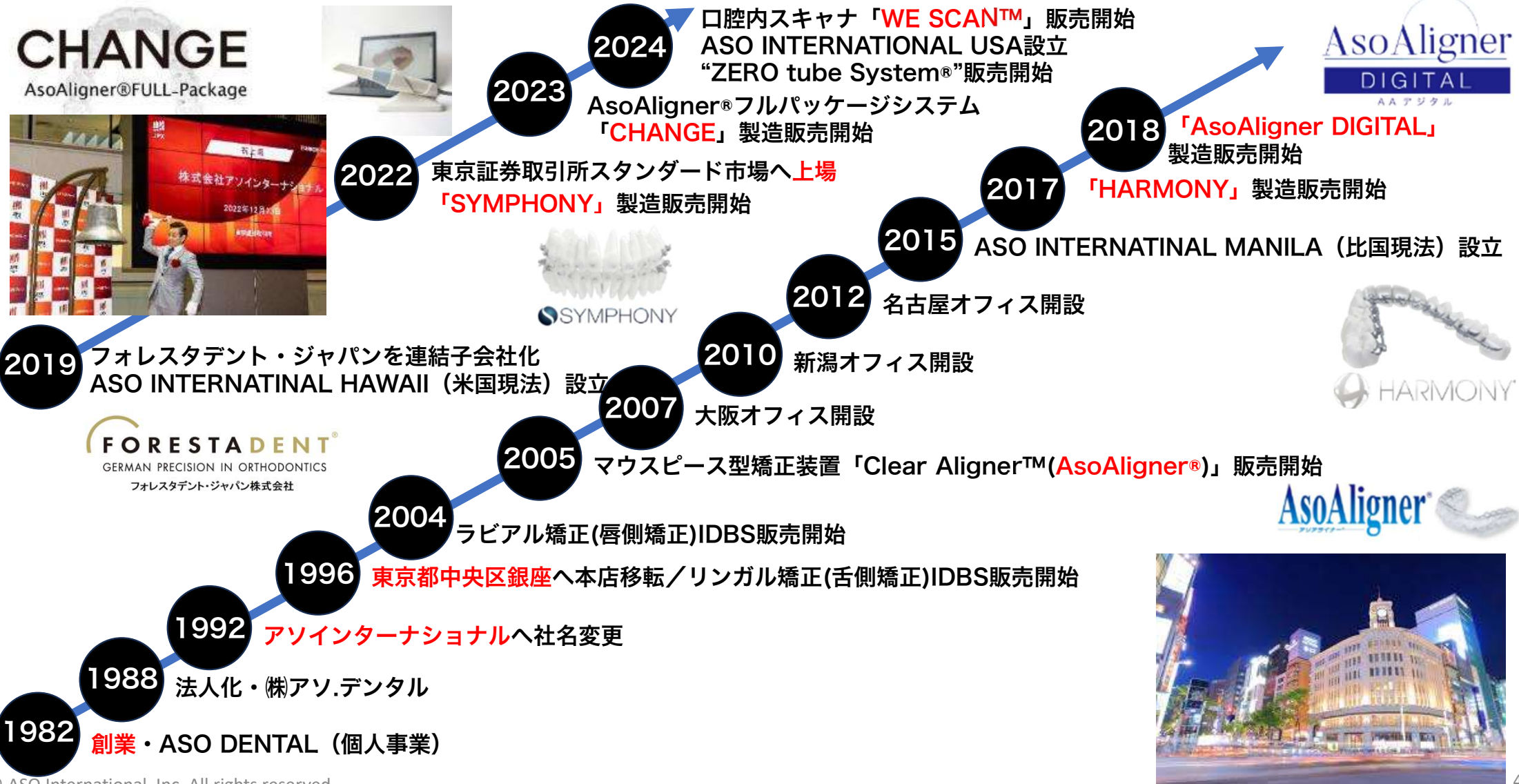
ミッション

世界規模で歯科矯正業界に貢献する企業になる

組織図 (2024年10月1日現在)

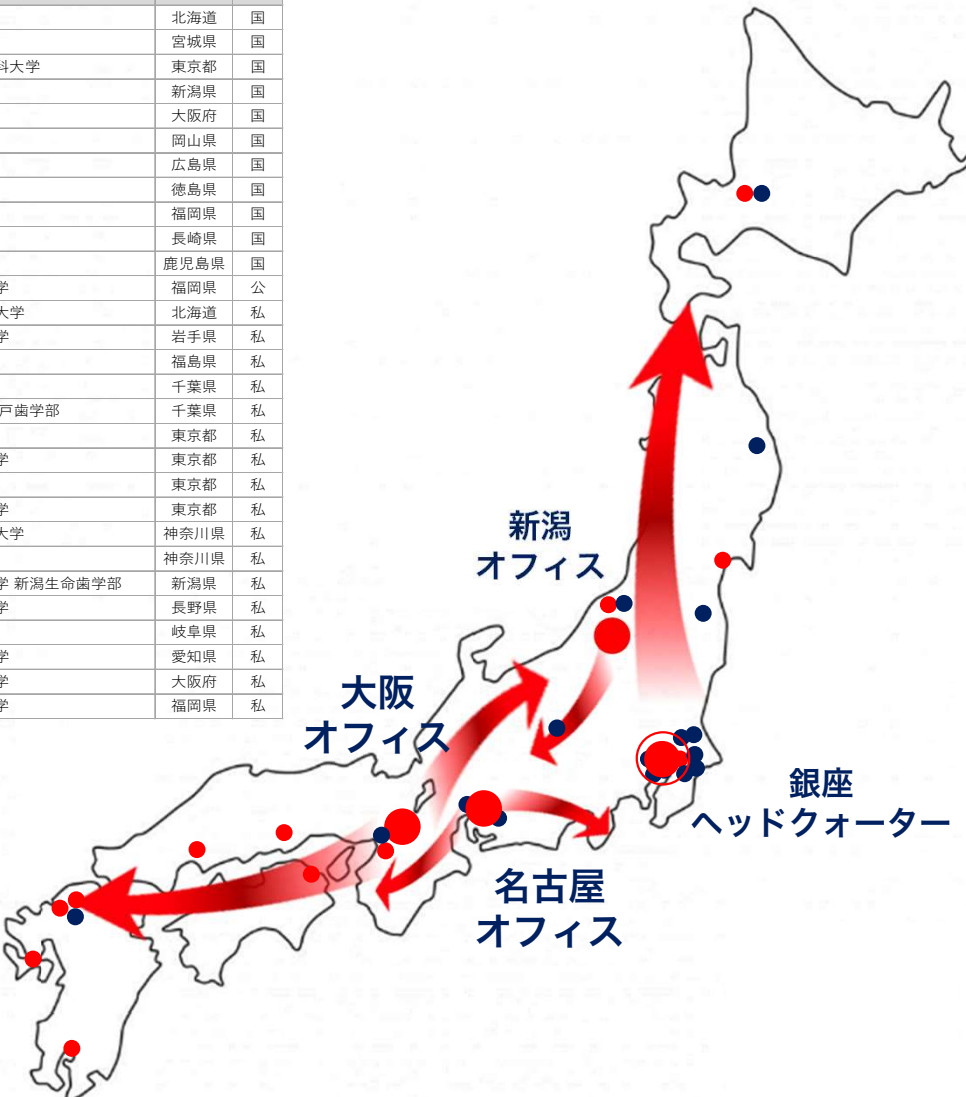


アソインターナショナル創業来の歩み (1982~2024年)



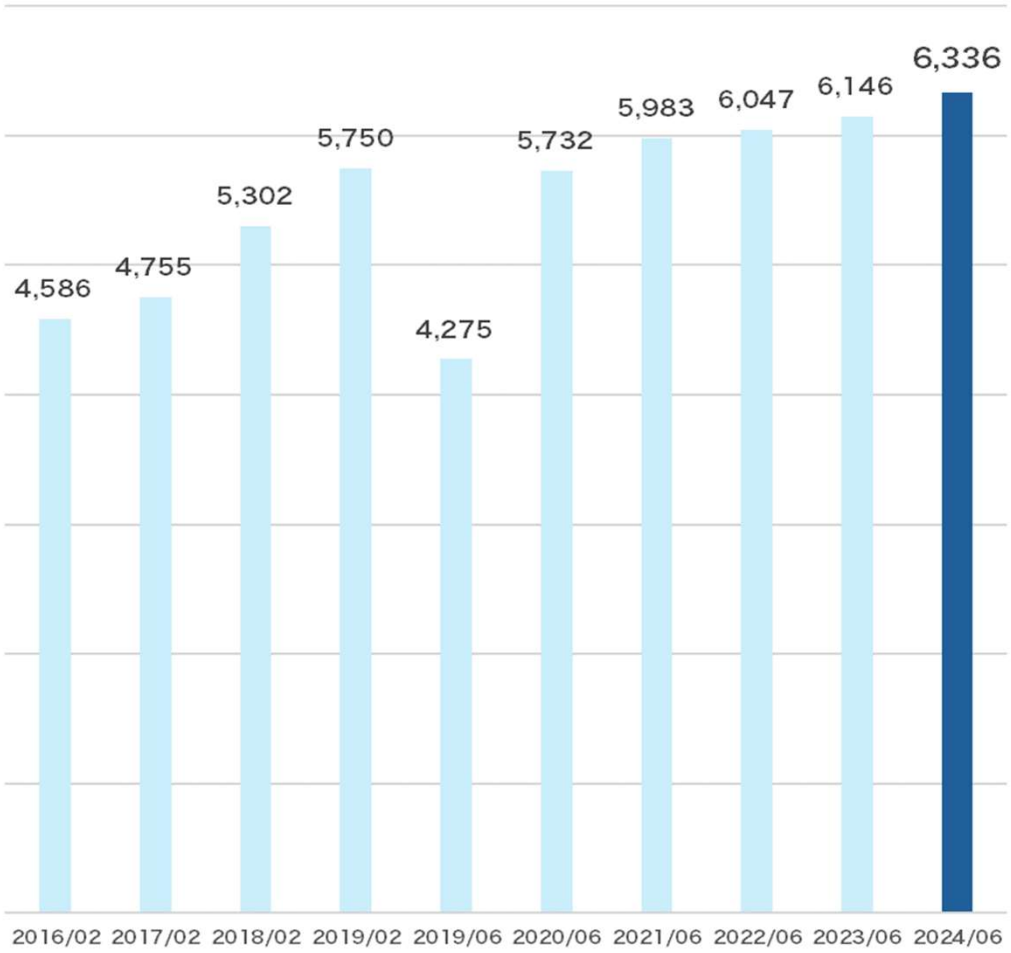
全国国公立大学29校すべての歯学部と6000超の歯科医院が顧客

#	大学名	都道府県	運営
1	北海道大学	北海道	国
2	東北大学	宮城県	国
3	東京医科歯科大学	東京都	国
4	新潟大学	新潟県	国
5	大阪大学	大阪府	国
6	岡山大学	岡山県	国
7	広島大学	広島県	国
8	徳島大学	徳島県	国
9	九州大学	福岡県	国
10	長崎大学	長崎県	国
11	鹿児島大学	鹿児島県	国
12	九州歯科大学	福岡県	公
13	北海道医療大学	北海道	私
14	岩手医科大学	岩手県	私
15	奥羽大学	福島県	私
16	明海大学	千葉県	私
17	日本大学 松戸歯学部	千葉県	私
18	昭和大学	東京都	私
19	東京歯科大学	東京都	私
20	日本大学	東京都	私
21	日本歯科大学	東京都	私
22	神奈川歯科大学	神奈川県	私
23	鶴見大学	神奈川県	私
24	日本歯科大学 新潟生命歯学部	新潟県	私
25	松本歯科大学	長野県	私
26	朝日大学	岐阜県	私
27	愛知学院大学	愛知県	私
28	大阪歯科大学	大阪府	私
29	福岡歯科大学	福岡県	私



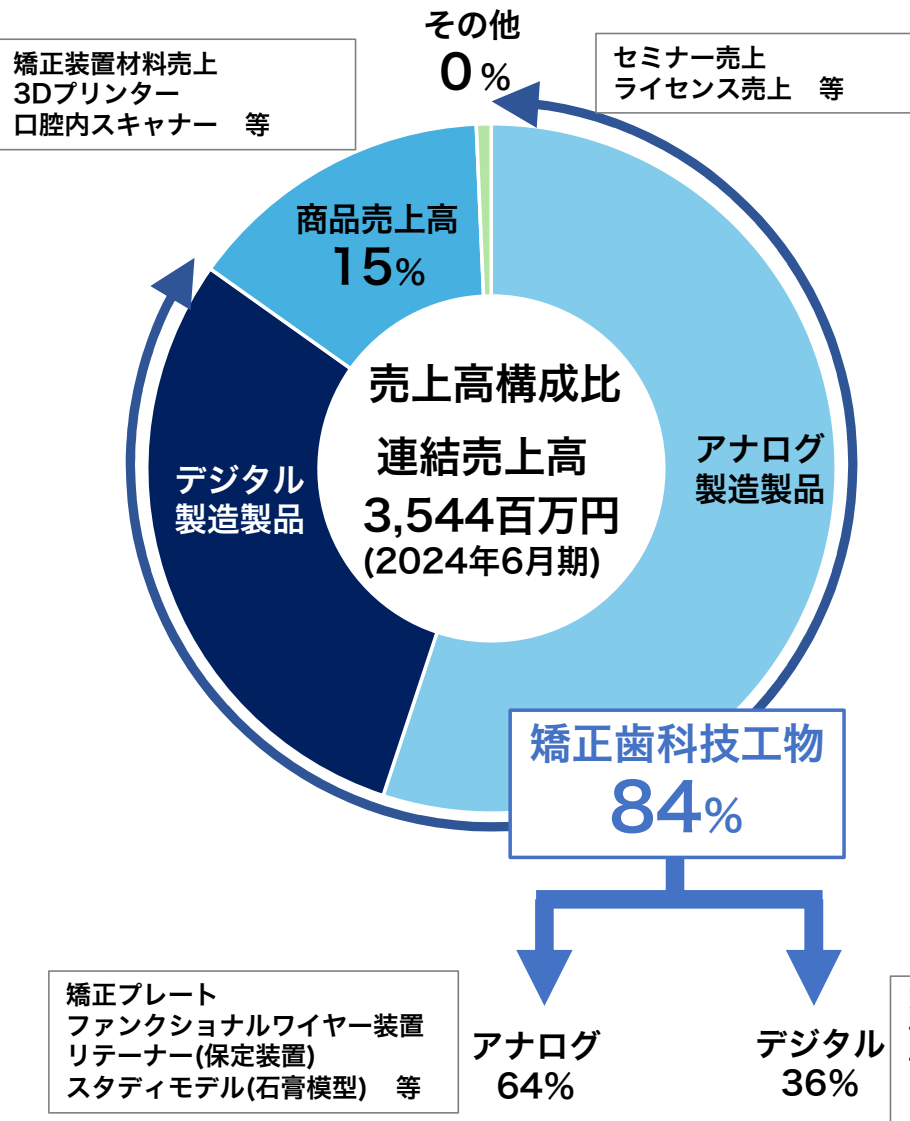
取引歯科医療機関数の推移

(院数)

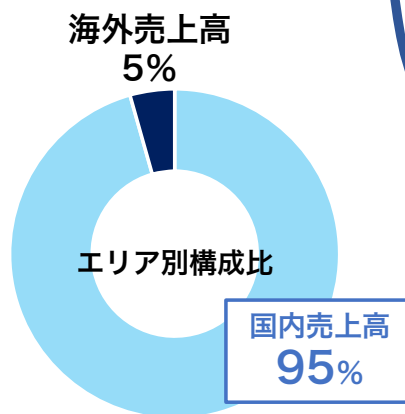


(変則4か月)

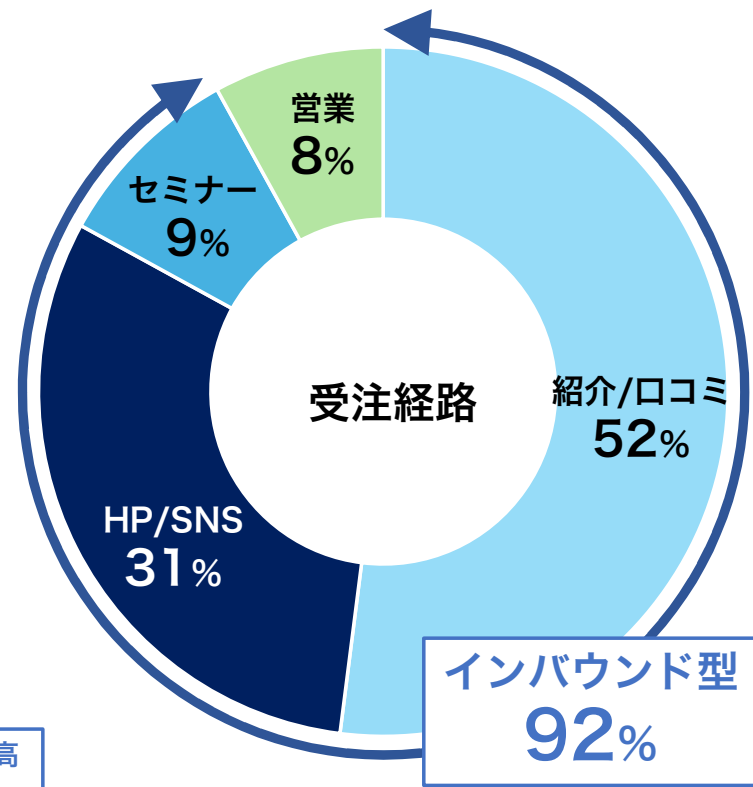
(アクティブユーザー＝各期において、一回以上取引があった歯科医院数)



米国ハワイ州
米国本土
オーストラリア
ベトナム
欧州諸国 等



アライナー(マウスピース)型矯正装置
デジタルセットアップ矯正装置
デジタルサービス 等



歯科矯正と業界動向



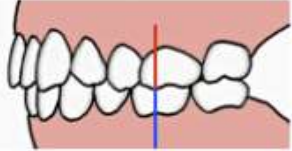
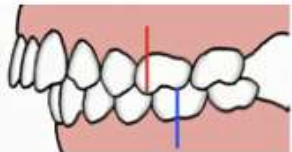
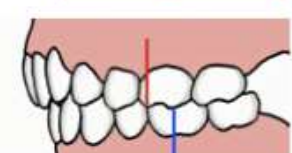
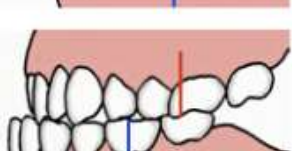
矯正歯科の必要性

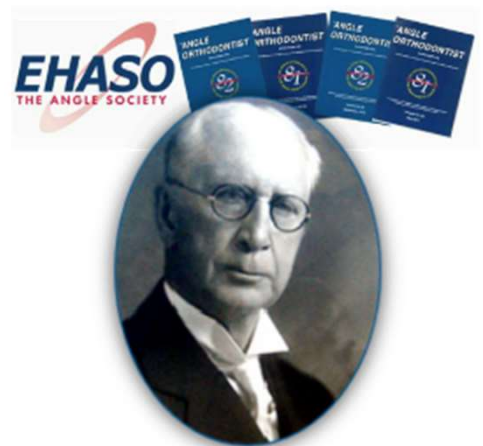
なぜ“矯正”が必要なのか？

矯正歯科の目的は、歯並び、咬み合わせの改善、さらに良好な咬合（こうごう＝かみ合わせ）を維持することで、患者さんの **QOL (Quality Of Life) の向上** を目指すことにあります。

- ✓ 食べ物がきちんと噛めない
- ✓ 肩こりや頭痛がする
- ✓ 虫歯や歯槽膿漏の原因となる
- ✓ 発音が正しくできない
- ✓ 非社交性の原因となる
- ✓ 審美性の追求
- ✓ 歯並びが悪い
- ✓ 口唇の突出感 等々

アングルの不正咬合分類

I級 (Class I)		正常 八重歯、乱ぐい歯
II級1類 (Class II Div. 1)		下顎の第1大臼歯が上顎の第1大臼歯に対して遠心にある I類：上顎前歯の前突を伴う 出っ歯
II級2類 (Class II Div. 2)		下顎の第1大臼歯が上顎の第1大臼歯に対して遠心にある II類：上顎前歯の後退を伴う オーバーバイト
III級 (Class III)		下顎の第1大臼歯が上顎の第1大臼歯に対して近心にある 受け口



エドワード・H・アングル（1855年-1930年）
アメリカ・ペンシルバニア州生まれ、20世紀で最も影響のある歯科矯正医であり、矯正歯科分野の発展に大きく貢献したことで知られる。
1876年にペンシルベニア歯科大学を卒業、欧州へ渡り、矯正歯科の技術と理論について学ぶ。帰国後、歯と顎の位置が正常でない状態を指す「不正咬合」という用語を世の中に広く知れ渡らせる。「矯正の父」とも呼ばれる。

矯正歯科装置の種類

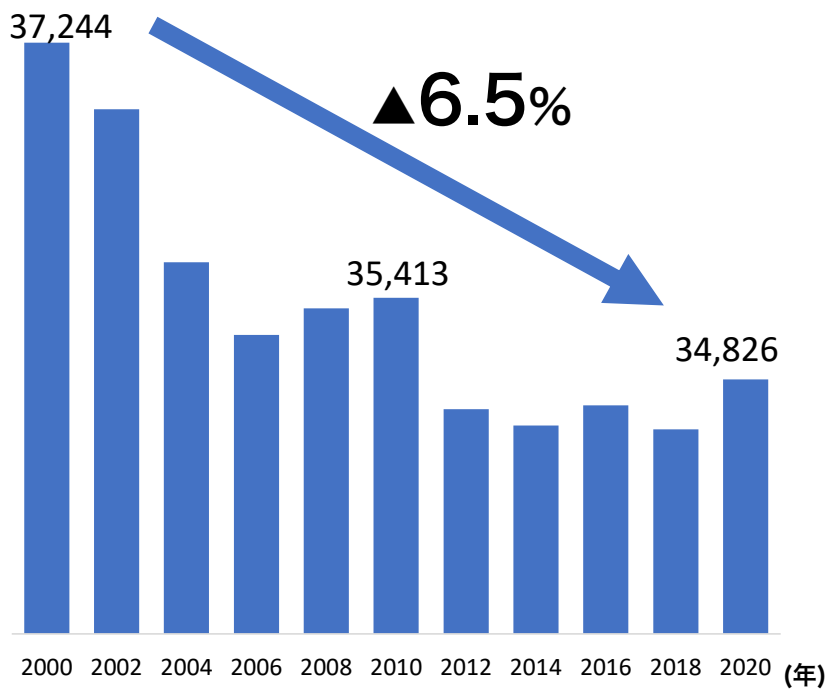
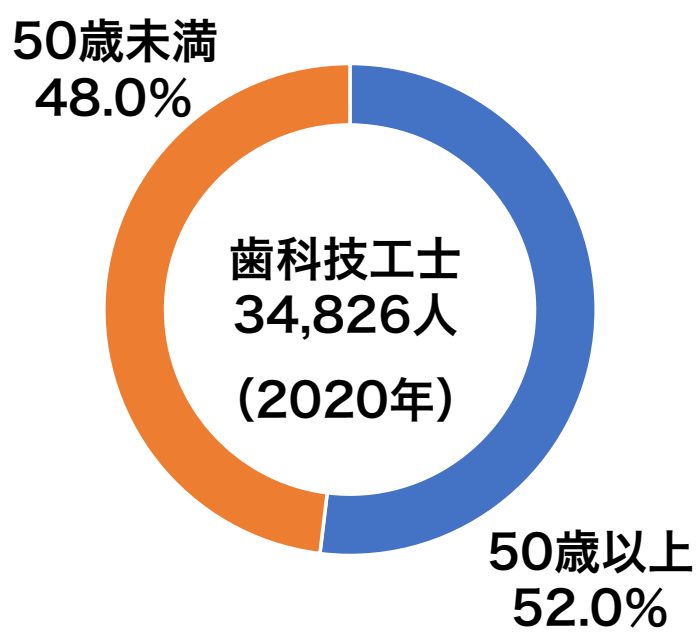


- ・ 歯科技工物は主として国家資格者である歯科技工士が製造。オーダーメイドとなるため、手工業的色彩濃い
- ・ ただしその歯科技工士は、高齢化・従事者減に直面。歯列矯正装置への対応余力も乏しい

年齢構成：高齢化*1

従事者数：減少傾向*1

矯正装置製造可能技工士：僅少*2



約1,000人/3.5万人

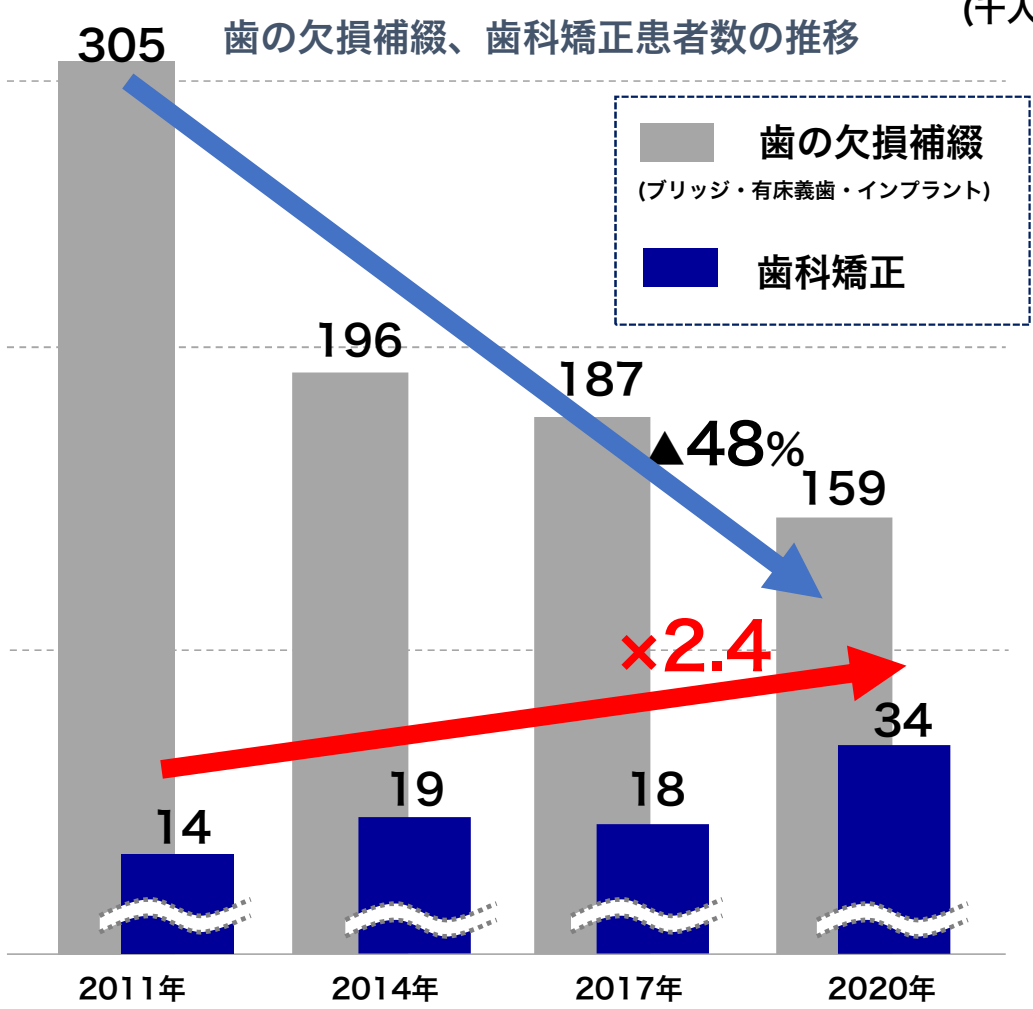
数か月の納品待ちが発生

矯正治療対応歯科医療機関
約2.5万クリニック

*1：「歯科技工士の養成・確保に関する検討会」（厚労省HP） *2：一般社団法人日本矯正歯科技工協会HP

日本の歯科矯正患者数は過去10年で2.4倍

2011～20年の10年間に於いて、機能回復目的の「歯の欠損補綴(ほてつ)」患者が半減する中、
歯科矯正患者数は倍増



矯正歯科治療経験者は全体でわずか7.7%、
50歳未満でも2割程度

矯正歯科治療のポテンシャルは大きい

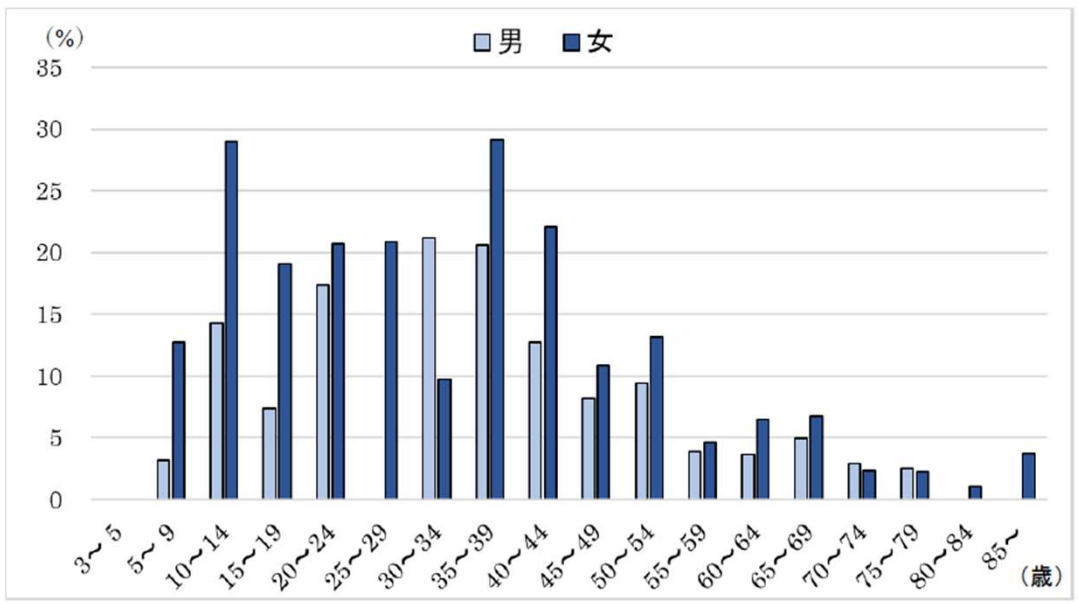
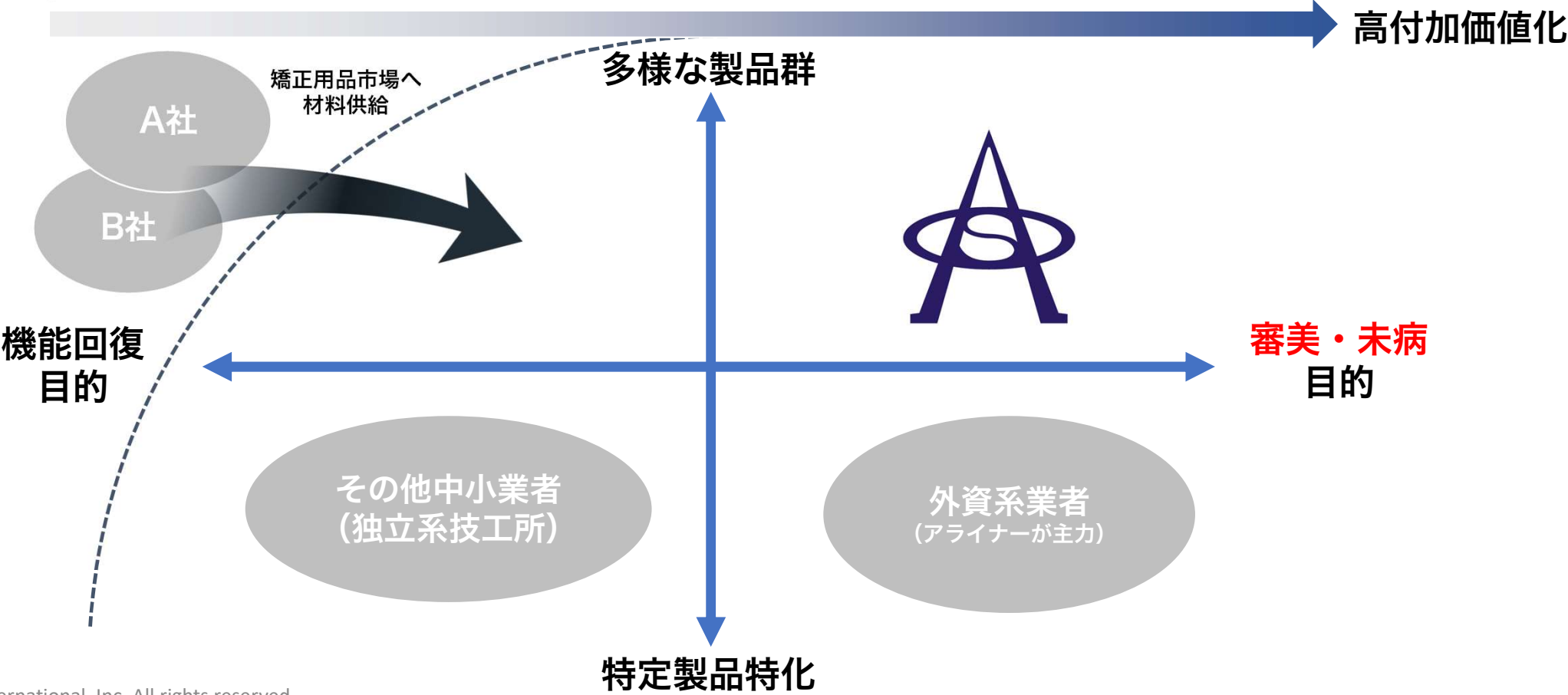


図 28. 矯正歯科の経験の有無、性・年齢階級別 (3 歳以上)
(令和4年厚生労働省歯科疾患実態調査より抜粋・引用)

国内の歯科矯正用品市場は、その目的と地理的展開により分類が可能
当社は日本全国をネットワークした**審美・未病**目的の矯正用品提供という点で、多くの同業とは一線を画す存在。
一方地域密着型で機能回復目的矯正用品を手掛ける小規模事業者（一人経営など）が業界における主力プレイヤーとして存在

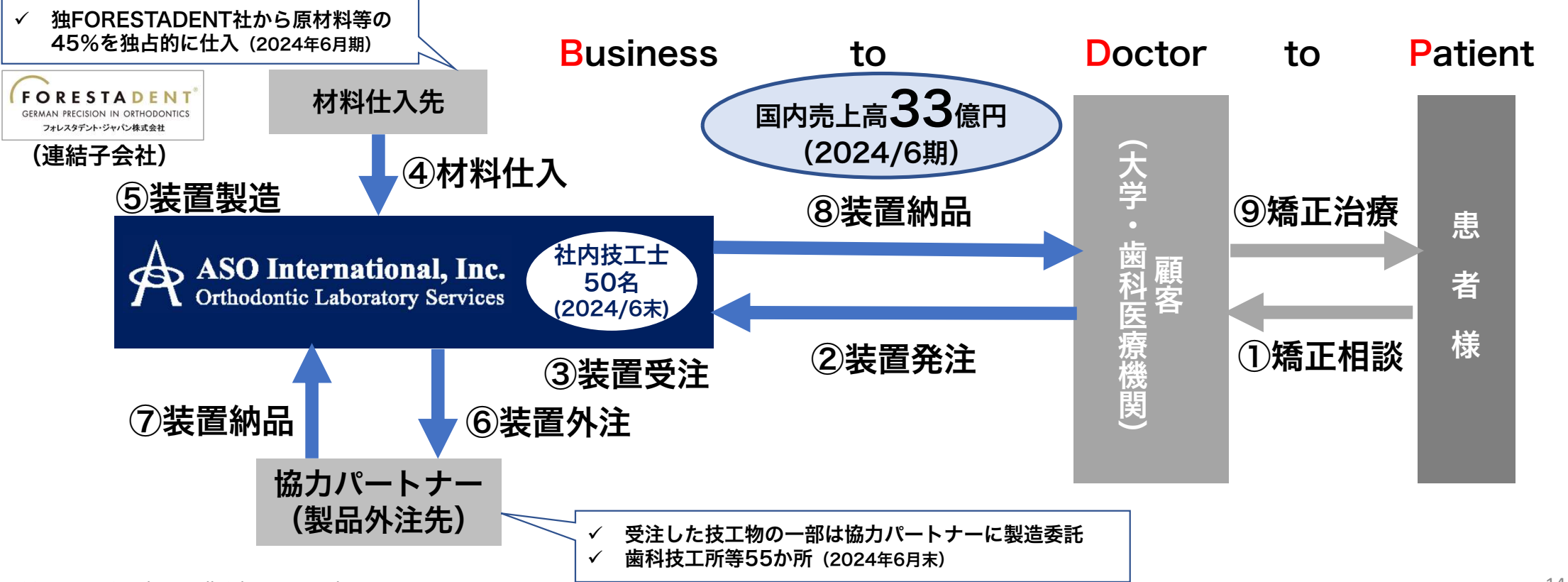


ビジネスモデル



事業内容と事業フロー

- ・ 歯科医療機関より矯正歯科技工物を受注、製造販売。ユーザーは一般消費者ながら、顧客は医院や大学などの B to D to P ビジネス
- ・ 歯科医療機関発行の歯科技工指示書に基づくオーダーメイド対応。患者毎に適合する矯正歯科技工物を手作業で製造
- ・ 製造はグループ内で対応する一方、汎用的な製品は協力先に外注可能な体制を構築

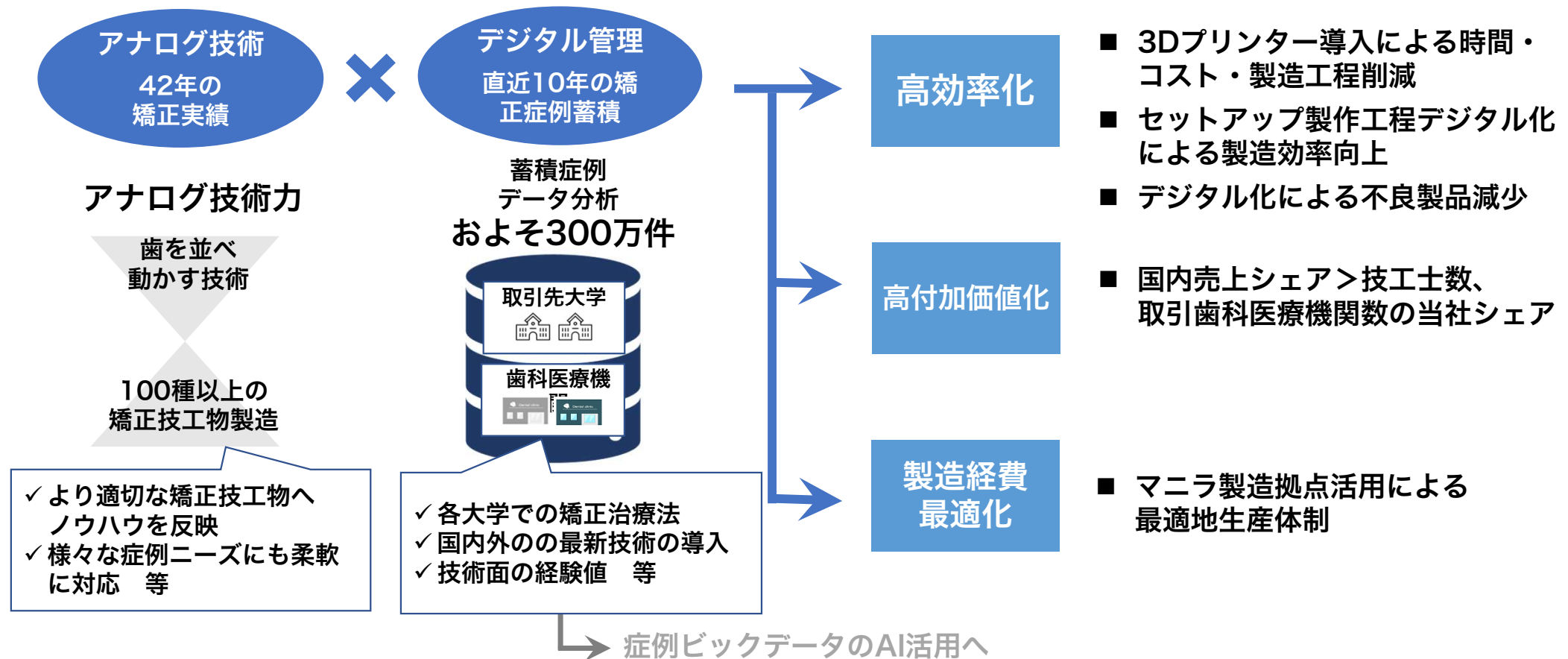


製品の65%は協力パートナーによる外注製造を活用、国内での内製は特殊品等高付加価値製品に特化
協力パートナー活用により、当社は固定費負担抑制と柔軟な製造キャパシティを確保

一方協力パートナーは当社の営業力を背景に安定した受注を確保できる相互メリット関係を構築

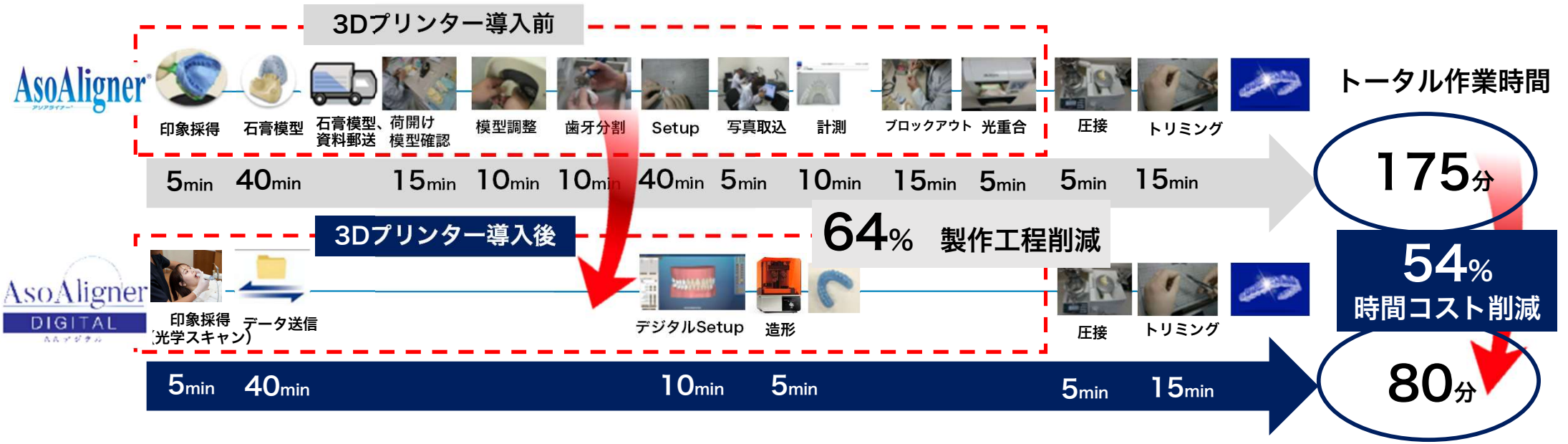
製造比率（数量ベース）35%	製造比率（数量ベース）65% (2024年6月期)
ASO International, Inc. Orthodontic Laboratory Services ● 歯科技工士 50名 ● 国内では特殊品など高付加価値製品特化 ● 海外子会社では汎用品を中心に製造 ● スキル、設備は常備されており、あらゆる矯正装置の内製対応可能 ● 短期間での基礎技術習得を目的とした独自のプログラムを実施 固定費負担抑制/ 製造能力の上方弾力性確保	協力パートナーによる製造 ● 外部協力技工所55ヶ所（当社から独立した歯科技工士46名） ● 主として汎用性の高い製品を分担 ● 外注量は受注状況に応じて柔軟に調整 ● 当社の案件獲得力を背景に比較的安定的な受注量確保が可能 ● 人材難の状況緩和に向け、歯科技工士育成や独立開業支援を強化 安定した受注量の確保

- 過去40年で蓄積した「歯を並べ動かす」ノウハウ（アナログ技術）と、直近10年における症例デジタル管理によるデータ分析力は長い歴史に裏打ちされた当社ならではの知見の集積
- それらの相乗効果を活用し、高効率化、コスト削減、高付加価値を推進



矯正装置製造デジタル化の効果

3Dプリンター導入前と導入後の工程の比較



セットアップのデジタル化





主力商品



マウスピース型矯正装置の製造・販売に19年の実績、国産マウスピース矯正では圧倒的な症例数と信頼
メタルプリンター活用で従前の既製品対応から患者個々に最適な材質・形状の装置製造が可能

CHANGE

AsoAligner®FULL-Package

アライナー（マウスピース型）全顎対応矯正装置
料金定額型フルパッケージ（デジタル製造）

全顎的な矯正治療に対応した治療システム
アソアライナーが新たに適応症例を拡大

- 全顎的な矯正治療に対応
- 定額料金のパッケージプラン
- アタッチメントの付与可能

AsoAligner
DIGITAL
AA デジタル

進化

CHANGE
AsoAligner FULL-Package

SHU-lider.



3Dメタルプリント次世代型動的矯正装置（デジタル製造）

デジタル技術を応用し、革新的なデザインと機能を持つ
スライディング・メカニズムにより3Dメタルプリント
矯正装置

ドイツ・デュッセルドルフ大学大学院・歯学博士
山口修二先生とASOデジタル技術によるコラボ製品



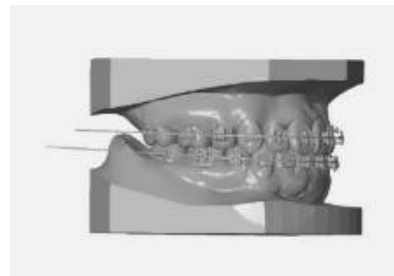
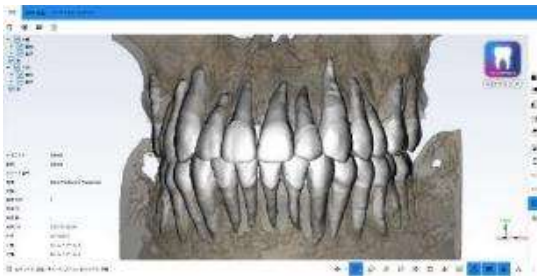
主力商品② ～ラビアル（唇側）・リンガル（舌側）矯正装置～

歯科医師の技術力による属人的問題を解消、デジタル製品は治療結果の標準化に寄与
顎骨や歯根などの情報を掛け合わせて提供できるため、より高度な診査・診断を歯科医師が行える



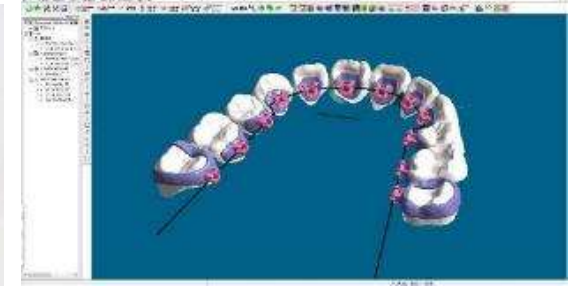
ラビアル矯正（唇側矯正）IDBS（デジタル製造）

CBCTデータ（DICOMファイル）とSTLデータを重ね合わせた歯根連動型セットアップによるラビアルIDBシステム
ブラケット（金具）ポジショニングの正確性を追求
ワイヤーベンディングマシンによる屈曲したワイヤの提供



リンガル矯正（舌側矯正）IDBS（デジタル製造）

本格的デジタル矯正技工物の元祖、治療効率の精度向上
専用高機能ソフトウェアを使用したリンガルIDBシステム
ブラケット（金具）ポジショニングの正確性を追求
ワイヤーベンディングマシンによる屈曲したワイヤの提供



主力商品③ ～リテーナー（保定装置）～

リテーナー（保定装置）

動的矯正終了後の後戻りを防ぐ為に使用する保定装置です。矯正を行った部位や歯列に応じて様々な形態のものがあります。ホーレータイプ、ラップアラウンドタイプなどの床タイプの物やマウスピース状の物、口腔内で固定するFixedなどの装置があります。



ラップアラウンドリテーナー

1. ベックタイプリテーナー、サーカムフィレンシャルリテーナーとも呼ばれ、動的矯正治療終了後の保定装置として使用する
2. 多数歯の動的矯正治療終了後に用いることが多く、主に永久歯列に使用する



クリアボウリテーナー

動的矯正治療終了後の保定装置として使用する



インビジブルリテーナー

1. 動的矯正治療終了後の保定装置として使用する
2. 床タイプに代表される長期間使用可能なリテーナーに移行する前に短期間（6～10カ月）使用する
3. 抜歯した際の保隙、抜歯溝への舌癖防止、食事時の抜歯溝への食渣侵入防止食事時の抜歯溝への食渣侵入防止にも対応可能である



スリムリテーナー

1. 動的矯正治療終了後の保定装置として使用する
2. 口蓋側の前歯部レジン辺縁を舌で触ることにより舌の訓練が行える



フィックスリテーナー

1. 動的矯正治療終了後の保定（主に前歯部）に用いる
2. 前歯部に人工歯を入れる際の固定源として使用する



メタルリテーナー

1. 動的矯正治療終了後の保定装置として使用する。特に口唇口蓋裂の症例には適している

主力商品④ ～アプライアンス（機械的・機能的矯正装置）～

アプライアンス（機械的・機能的矯正装置）

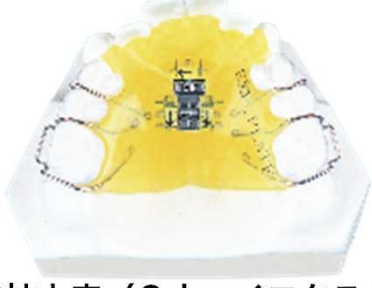
主に患者さんの口腔周囲筋や咬む力などの筋肉の力を利用した可撤式の機能的矯正装置です。不正咬合の改善や顎の骨の成長促進をするために用いられ、咬合状態や治療目的に応じて様々な装置が考案されています。代表的なものにアクチバートル、バイオネーター、ビムラー、フレンケルなどがあります。

機械的矯正装置



サジタルアプライアンス(上顎)

骨格性に劣成長の状態にある上顎骨複合体に、整形的な力を加えて側方拡大と前下方への成長の促進を図るために用いる



三方向拡大床（3ウェイエクспанション）

- 1.主に前方歯列の唇側方向への拡大を目的として使われる（スクリューの拡大量は、平均的に3～4mm程度、唇側拡大、側方拡大することができる）
- 2.臼歯部の側方拡大も可能



ペンデュラムアプライアンス

- 1.上顎大臼歯の遠心移動に用いられる
- 2.側方拡大（スクリューを使用した場合）することも可能である

機能的矯正装置



ファンクショナルアプライアンス
EOA(エラスティックオープンアクチベータ)

- 1.アングルII・III級の改善に使用する（どちらの歯列にも使用できるがその場合上下の設計が逆になる）
- 2.口唇圧を取り除く
- 3.前歯の軽度な叢生を改善する
- 4.歯列の拡大をする



ファンクショナルアプライアンス
Frankel IV(フレンケルIV)

- 1.機能的矯正装置の一種で、混合歯列期初期の動的矯正治療に使用する
- 2.開咬の症例に適応し、基本的には就寝時に使用する

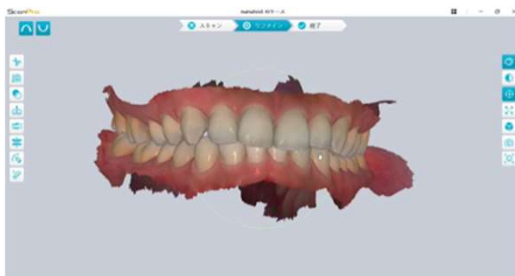


ファンクショナルアプライアンス
ハーブストアプライアンス

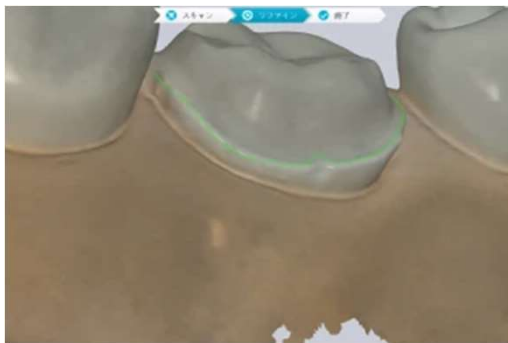
アングルII級の改善に用いる

主力商品⑤ ～歯科医院向け口腔内スキャナー・3Dプリンター～

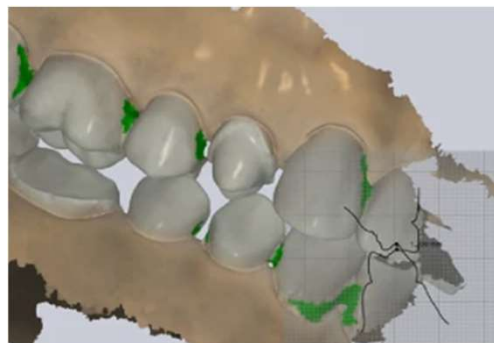
口腔内スキャナー「WE SCAN」



7.28μmの高精度データ



マージンラインツール



クリアランスの分析



矯正シミュレーション

3Dプリンター

formlabs

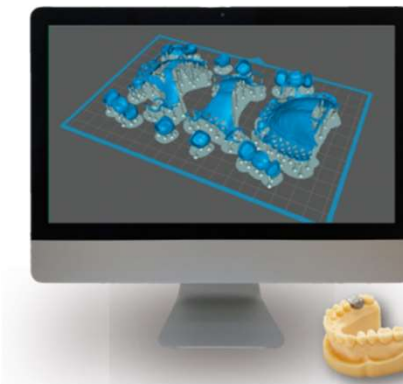
LuxCreo



Formlabs Form4



LuxCreo iLux Pro Dental



SATT SYSTEMS



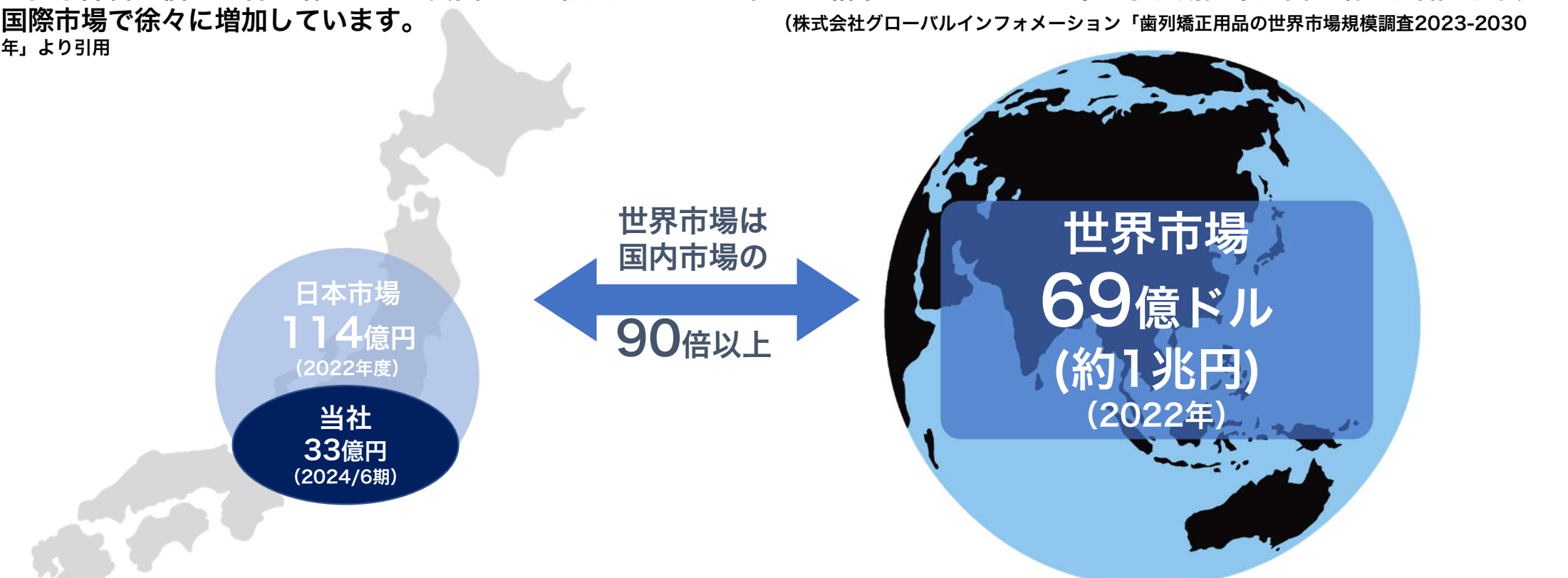
海外戦略



矯正歯科用品マーケットの国内・海外比較

歯列矯正用品の世界市場は、2022年には約69億米ドルと評価され、予測期間2023-2030年には7.9%以上の健全な成長率で成長すると予測されています。

歯列矯正用品は、歯科矯正医が歯や顔の不整を診断、予防、治療するために使用する道具や材料です。これらの用品は、歯の矯正、噛み合わせの矯正、口腔全体の健康改善を目的とした歯列矯正処置に不可欠です。歯列矯正用品市場は、可処分所得の増加や口腔の健康障害に悩む患者の増加などの要因により拡大しています。その結果、2023-2030年の予測期間中、歯列矯正用品の需要は国際市場で徐々に増加しています。
(株式会社グローバルインフォメーション「歯列矯正用品の世界市場規模調査2023-2030年」より引用)



日本市場：株式会社R&D「歯科機器・用品年間2024年版」より引用

株式会社グローバルインフォメーション「歯列矯正用品の世界市場規模調査」
(2023年12月20日)より引用

海外市場環境：米国歯科矯正市場の動向

米国の歯科矯正市場規模は 2023 年に 30 億米ドルと評価され、2024 年の 35 億 4000 万米ドルから 2032 年までに **165 億 6000 万米ドル** に成長すると予測されており、予測期間 (2024 ~ 2032 年) 中に **21.3% の CAGR** を示します。

歯科矯正は、機械的治療を使用して歯の位置を最適な位置に再調整することで、歯の外観と機能の両方を向上させることを目的としています。患者様の顔の輪郭、顔のバランス、美的関心がアライメントを決定する重要な要素となります。さらに、歯科矯正治療はさまざまな種類の不正咬合の管理にも役立ちます。したがって、歯の不正咬合の有病率の上昇とこれに関する意識の高まりが、市場の成長を促進すると予想される重要な要因です。たとえば、アメリカの健康保険会社、Humana Inc. によると、**400 万人以上のアメリカ人が歯列矯正装置を装着**しており、そのうち 25% が成人です。

(中略)

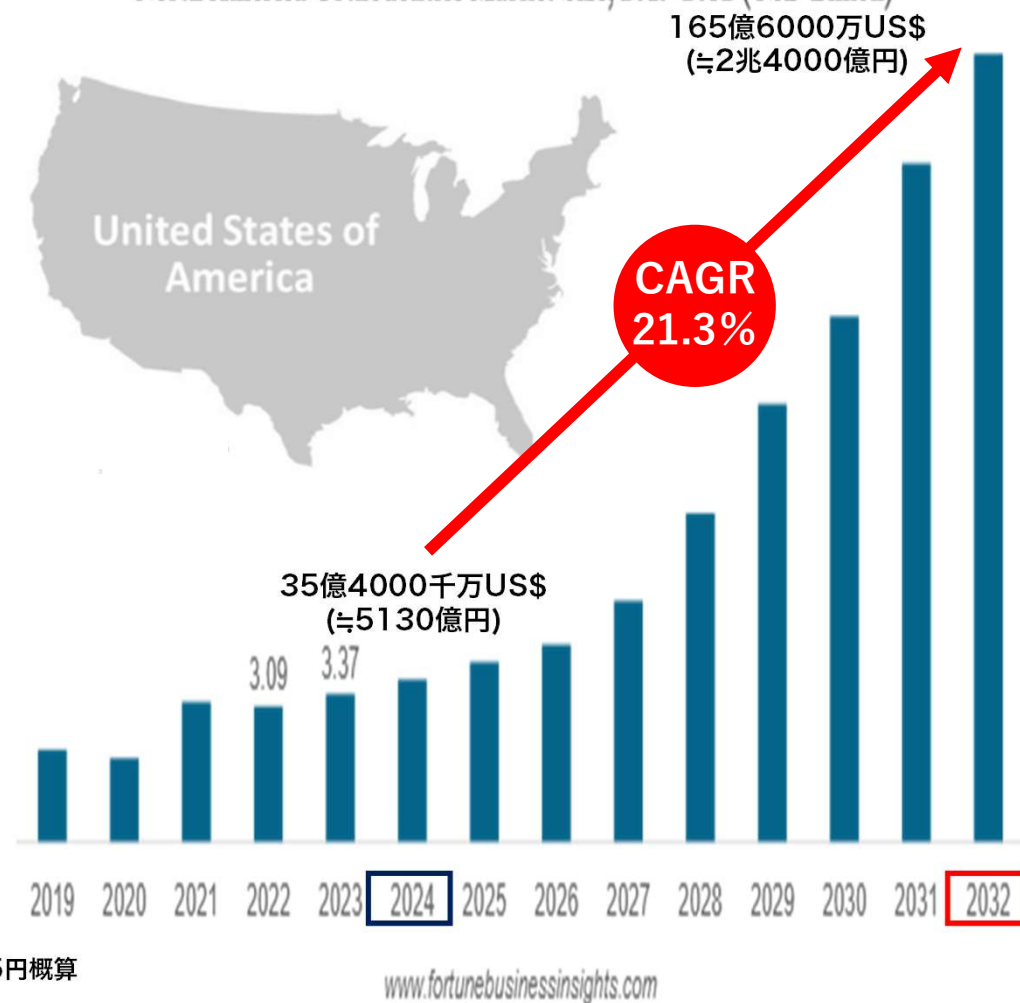
さらに、**デジタル化や 3D プリンティング**などの高度な歯科技術の急速な導入が市場の成長を支えています。これに加えて、先進的な製品の発売、戦略的コラボレーション、買収が市場の成長をさらに推進します。

(中略)

2020 年は、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のパンデミックにより、歯並びの処置の数が減少しました。しかし新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 関連の規制が緩和されたことで、米国での需要が増加しました。さらに、遠隔歯科技術とデジタル技術は、パンデミック中およびパンデミック後に大きな需要を見せました。

米国歯科矯正市場の規模と今後の成長予測

North America Orthodontics Market Size, 2019-2032 (USD Billion)



文・グラフとも<https://www.fortunebusinessinsights.com/jp>より引用、日本円換算は1\$=145円概算

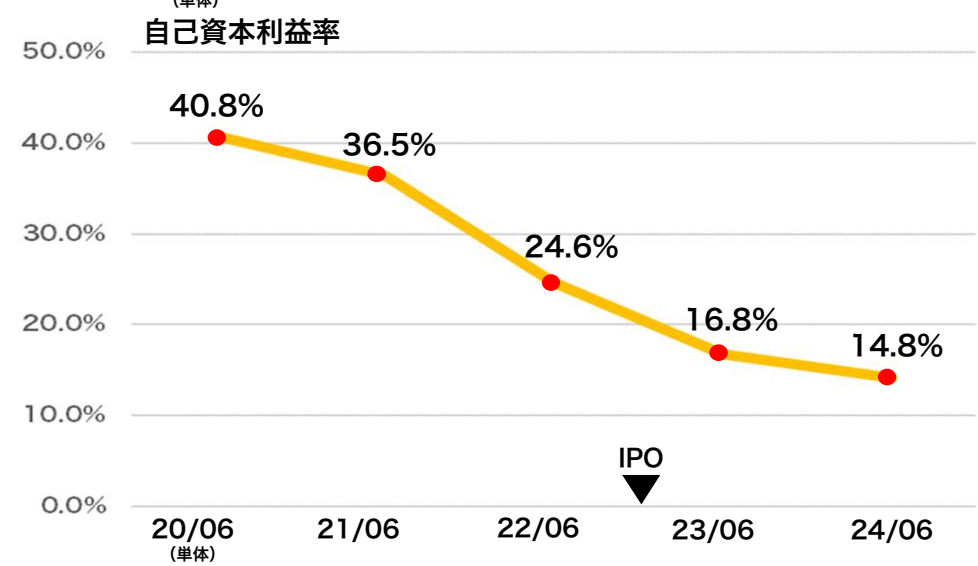
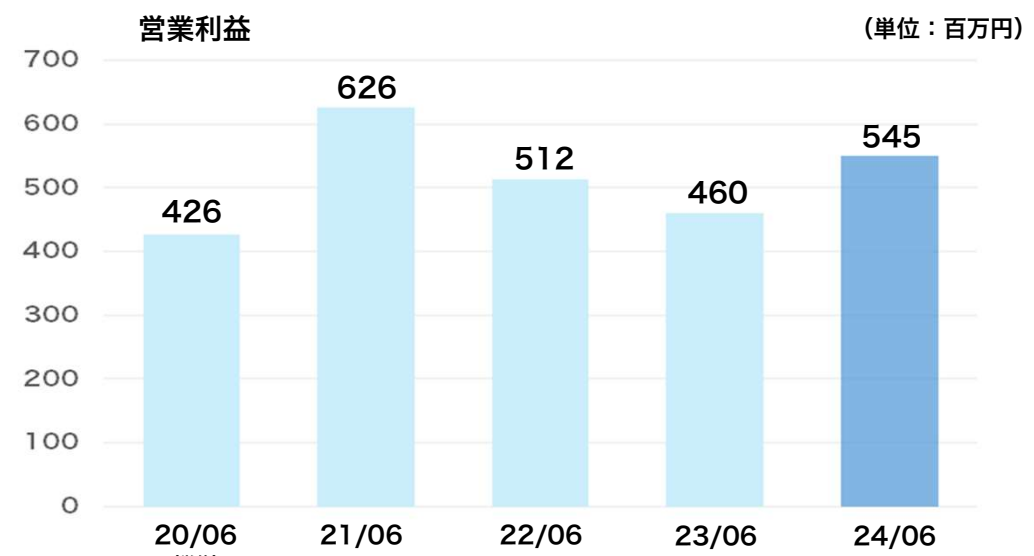
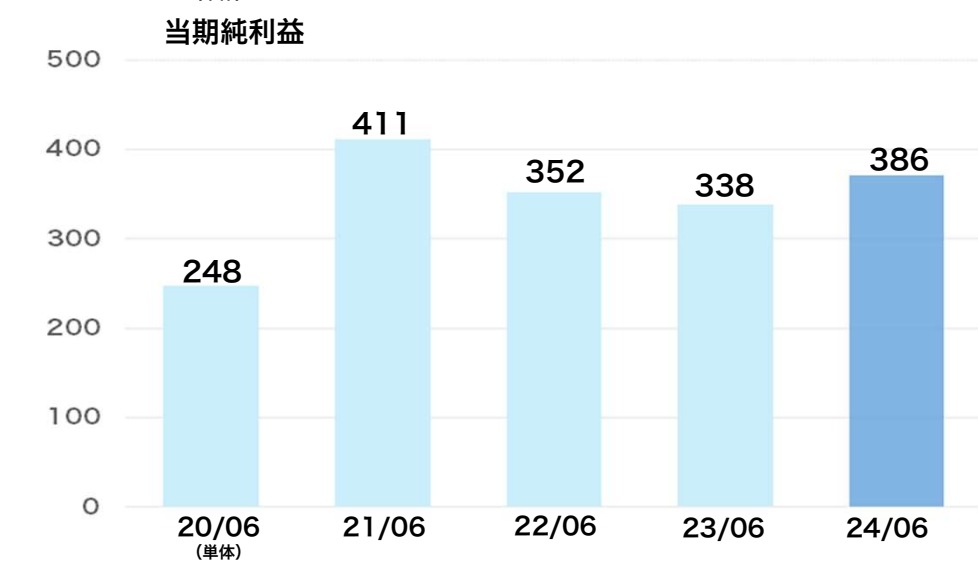
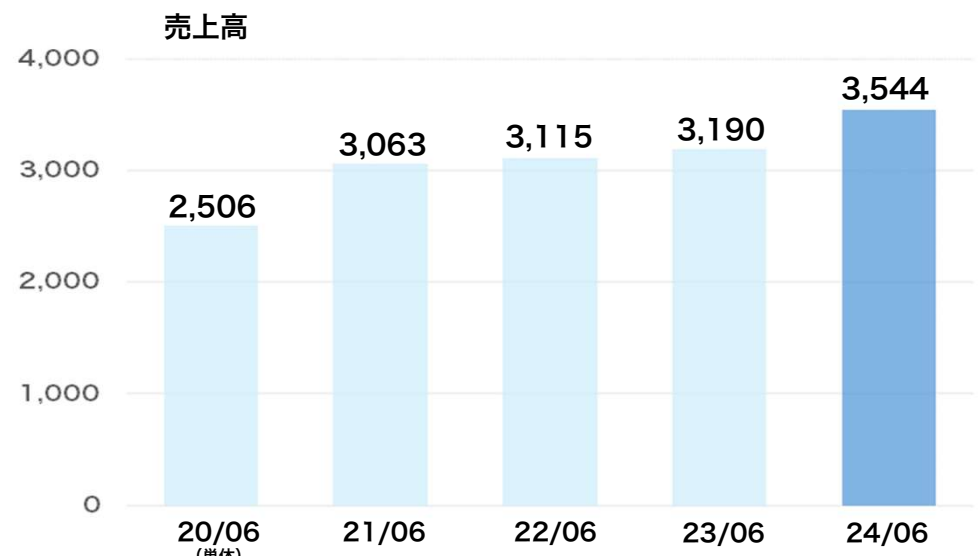
- ①主に米国、オーストラリア、EU、アジア等から歯科矯正技工物を受注、本社へデータ転送、製造
- ②マニラ製造拠点活用による最適地生産体制、DHLによる国際輸送、グローバルアカウント一括管理
- ③2024年4月設立米国現地法人ASO International USAを将来的にグローバルデータセンターに



財務データ・用語解説



連結売上高・営業利益・当期純利益・自己資本利益率の推移



期 西暦期 和暦期			単体 第33期 2020/06 R2/6	連結 第34期 2021/06 R3/6	連結 第35期 2022/06 R4/6	連結 第36期 2023/06 R5/6	連結 第37期 2024/06 R6/6
売上高	(千円)		2,506,466	3,062,763	3,115,106	3,190,044	3,544,750
営業利益	(千円)		387,751	625,797	512,174	460,250	545,318
経常利益	(千円)		386,916	628,103	518,387	433,892	555,355
当期純利益	(千円)		248,172	411,155	351,840	338,159	386,406
包括利益	(千円)		-	409,644	352,808	335,958	391,378
純資産	(千円)		731,883	1,302,910	1,552,931	2,465,578	2,763,156
総資産	(千円)		1,470,412	2,042,322	2,193,097	2,826,293	3,184,903
1株純資産	(円)		18,297.1	32,572.8	38,823.3	507.8	568.6
1株当期純利益	(円)		6,204.3	10,278.9	8,796.0	76.1	79.5
自己資本比率	(%)		49.8%	63.8%	70.8%	87.2%	86.8%
自己資本利益率	(%)		40.8%	36.5%	24.6%	16.8%	14.8%
総資産利益率	(%)		18.0%	23.4%	16.6%	13.5%	12.9%
営業CF	(千円)		-	385,089	246,654	245,716	437,152
投資CF	(千円)		-	△ 49,738	△ 67,712	△ 90,612	△ 179,277
財務CF	(千円)		-	△ 65,208	△ 104,668	276,624	△ 93,801
期末現金残	(千円)		750,349	1,209,686	1,292,077	1,727,892	1,899,993
従業員数	(人)		58	236	257	267	451
発行済株式数	(株)		40,000	40,000	40,000	4,855,600	4,884,300
1株配当金	(円)		1,365	2,570	2,625	21	35
配当総額	(千円)		54,600	102,788	105,000	101,967	170,950
配当性向	(%)		22.0%	25.0%	29.8%	30.2%	44.2%
株主資本配当率	(%)		9.0%	7.8%	7.3%	5.0%	6.5%

No.	用語	用語の定義
1	歯科技工所	歯科医師または歯科技工士が業として歯科技工を行う場所をいう。ただし、病院又は診療所内の場所であって、当該病院又は診療所において診療中の患者以外の者のための歯科技工が行われないものを除く。
2	歯科技工物	特定人に対する歯科医療の用に供する補綴物、充填物又は矯正装置を製造し、修理または加工したものをいう。
3	補綴（ほてつ）物	虫歯などの治療の後に歯にかぶせる物をいう。補綴物には金属やプラスチック、CAD/CAM製クラウン等の種類がある。また保険適用のものもあれば、保険適用外の補綴物も存在する。
4	矯正用の歯科技工物	歯や顎（あご）の位置を移動させるために使用する技工物の総称。歯列矯正治療が終了した後や矯正治療中に例外的に不動とする歯に対応する保定の役割を持っているものも矯正用の技工物として定義されることから、形状は様々である。保険適用のものもあれば、保険適用外のものも存在する。
5	歯科大学及び附属病院	歯科大学とは、歯学部が設置されている大学をいう。歯学部付属病院が設置されている国公立大学と私立大学は日本国内に計29校あり、当社ではすべての29校に販売実績がある。
6	GP (General Practitioner) (ジー・ピー)	一般歯科医のことをいい、虫歯や歯周病の治療、矯正など歯科治療全般を広く行う歯科医師のこと。専門医（歯周病専門医や矯正専門医）等特定の特定の治療域を専門的に行う歯科医師と区別するいい方。
7	歯科技工士	厚生労働大臣の免許を受けて、歯科技工を業とする者をいう。
8	矯正力	不正な位置にある歯や顎を適正な位置に移動させるために加える力をいう。
9	歯科技工士法	歯科技工士資格を定めるとともに、歯科技工の業務が適正に運用されるように規律し、もって歯科医療の普及及び向上に寄与することを目的とする法。
10	歯科技工指示書	歯科技工物の発注時に、歯科医療機関が内容記載する発注書をいう。歯科技工物の設計指示の詳細が明記されている。
11	ブラケット	基本的には金属製だが、セラミックやプラスチック製の目立たない製品もあり、最も一般的で自由度の高い矯正器具をいう。
12	ワイヤー	矯正治療専用のワイヤーを指し、金属製が用いられる。歯にワイヤーの矯正力を伝えるために、ワイヤーと歯の間にはブラケットの介在が必要。
13	コア	ブラケットを適正な位置に装着するための治具。
14	アライナー	患者さんの口腔内石膏模型や口腔内の3Dスキャニングデータを用いて作成した透明のマウスピース状の装置のこと。アライナーを用いた矯正歯科治療とは、そのアライナーを決められた順番通りに装着し、歯を動かしていく治療法のこと。
15	リテーナー（保定装置）	矯正治療直後の不安定な歯列を固定し、保持するための装置。歯を移動させるほどの強い力は発生せず、上下の歯が勝手に後戻りしない程度の保持力があり、マウスピース型・プレート型・ワイヤー型の3タイプが存在する。当社では100種類以上の患者にあったリテーナーを製造している。

免責事項

🦷掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。

🦷本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

🦷なお本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値や将来展望は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。

🦷今後リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業況や業績結果と大きく乖離するなど、本資料の内容と異なる可能性もございます。予めご了承ください。



X(旧Twitter) ASO公式アカウント開設
株式・株価に関する情報をお届けいたします。
みなさまのフォローをお待ちしております。

@ASO_9340



ASO International, Inc.
Orthodontic Laboratory Services

お問い合わせ

株式会社アソインターナショナル 管理部
〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-8
email : ir@aso-inter.co.jp

【東京証券取引所スタンダード市場：9340】